

情報セキュリティへの対応

1. 個人情報に配慮した実験

検討会における審議過程において、バスターミナル利用者など一般の方が映り込む映像を取り扱う実験となるため、個人情報に関する事項については特に配慮すべきとの提言をいただき、実証実験を進めるにあたり、「個人情報保護に関する基本指針（プライバシーポリシー）」を独自に定め、その目的や情報の安全管理措置などを明確化し、公表の上、実施しました。

2. 技術情報に配慮した実験

検討会では、各参加事業者が持ち寄った技術には製品化されていないシステムも含まれていることを想定し、個人情報と同様に技術に対する機密保持についても配慮が必要との提言をいただきました。実証実験を進めるにあたり、各参加事業者はもちろんのこと、検討会の各委員に至るまで情報を取り扱う関係者に対し、守秘義務や情報の管理の徹底を図りました。また、検討会の資料についても、技術情報や警備情報を含む資料は非公開としました。

3. バスターミナル等の利用者へ配慮した実験

実証実験を実施場所において「実証実験実施中」を示すポスターを掲示し、「実験の目的」・「方法」・「プライバシーポリシー」を明記し、3言語表記（日本語、英語、中国語）するなど視覚的にわかりやすく、明確にしたうえで実施しました。

The image shows three posters for a security system demonstration experiment at the Tokyo Yaesu Bus Terminal. Each poster is in a different language: Japanese (left), English (middle), and Chinese (right). They all contain the same information: the purpose of the experiment (demonstrating an advanced security system to prevent terrorism), the method (using cameras on a glass plate), the dates (February 14th to 21st), and the location (near bus stops No. 7, 8, and 9). Each poster also lists the organizers (Road Transport Bureau, etc.), privacy policy, industry (Road Transport Bureau, etc.), and sponsors (CSP, ALSOK, Panasonic).

以上のとおり、実証実験を実施した結果、円滑に実証実験を進めることができ、バスターミナル等利用者からご理解をいただいたものと思います。